

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年5月10日】第81号



元気に登校

4月29日(祝)からはじまった連休も、5月5日(祝)で終わり、5月6日(木)から子どもたちは元気に登校しました。緊急事態宣言が発出された中での連休で、保護者の方もStay Homeに努めていただいたことに感謝しています。そして、家族とともにゆったりと過ごすことで、新学期開始以来のこころと体の疲れを、子どもたちは十分に癒せたものと思います。元気なこころと体があつてこそ、子どもたちは授業に集中し、また、学校生活を楽しく過ごすことができます。これからも、元気が無いとか、いらいらしている様子が子どもに見られたら、ゆったりと過ごす週末とし、リフレッシュさせていただければと思います。

柏の若葉も美しく

農大稲花小の正門脇には、カシワ(柏)の木が1本あります。落葉樹ですが、枯れ葉はかなり長く木についたままという特色があります。この枯れ葉が落ちると、今度は一気に若い芽ができてきます。そして、この連休明けにはやわらかく展葉していました。



5月5日(祝)のこどもの日には、柏餅を食べた子どもたちも多かったようです。柏餅に使うカシワであることを説明すると、興味を持ちます。本校でも、連休の前後には教職員が協力して5月人形を飾りました。これからも、季節の行事や自然に興味を持つ子どもたちでいてほしいものです。



正門にある「カシワ(柏)の木」

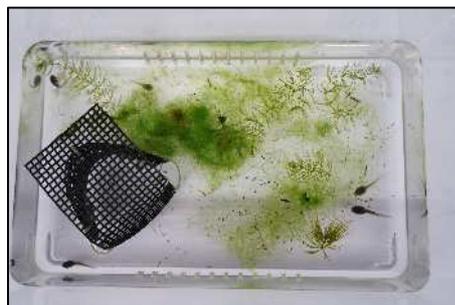


5月人形

オタマジャクシがやってきた

5月6日(木)、本校にニホンアカガエルのオタマジャクシがやってきました。(一財)進化生物研究所のご縁もあり、爬虫類と両生類などに詳しい宇野誠一郎様がお届けくださったものです。アカガエルという名が示す通り、背中は赤褐色、腹側は橙色のカエルに育つ予定ですが、そうになると、昆虫や昆虫を中心とした地表性の小動物を食べる肉食性のため、飼いつけることは難しくなります。そこで、時期が来たら、採取した場所に連れ帰り放していただくことにしています。生態系を守るためにも大切なことです。

子どもたちは早速、オタマジャクシの水槽に見入っていました。オタマジャクシの成長の面白さだけでなく、生態系についても目を向ける機会となることでしょう。



暑い日は夏制服で

6月の衣替えを前に、5月は制服の移行期。気候に合わせて、暑い日には夏制服の着用をすることができます。5月6日(木)、この日は、ジャケットを着用し冬帽子・冬制服の子どもと、シャツやブラウス姿で夏帽子・夏制服の子どもが入り混じった日となりました。登校するなり「まだ5月なのに、稲花小はなぜ夏服でもいいんですか?」と聞いてきた子どもがいます。いい着眼点だと思いました。一般には6月が衣替えだと知っているの疑問だからです。季節の変わり目に、暑い日は涼しい、寒い日は温かい制服を着て元気に過ごすためだと説明すると、納得したような顔をして昇降口に走っていきました。

緊急事態宣言の延長

緊急事態宣言が延長され、新型コロナウイルス変異株の蔓延も心配なところです。しかし、変異株が増えても、感染防止対策が大きく変わるわけではありません。本校では引き続き、感染防止を第一にしながらも、子どもたちの学びを止めることなく教育を行ってまいります。従来型であれ変異型であれ、子どもの感染の多くは大人から起こっているとされます。教職員も、児童が学ぶ学校に新型コロナウイルスを持ち込むことがないように、注意深く生活をしております。保護者の皆様にも引き続きのご協力をお願いいたします。

* 文部科学省 子どもたちの感染状況と学校の感染症対策 <https://youtu.be/yOvf1-WfnRs>